

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス青空				公表日	2026年 2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・3クラスに分かれたことでスペースに余裕ができて、勉強スペースや遊戯室と区別されたことでそれぞれの活動がしやすくなっている。 ・ゆとりは無いが基準は満たしている。 ・定員人数を守って適切にできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少し狭く感じることもある。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・職員1人に対して子ども2～3人の配置をされており適切であると思う。 ・送迎車がたくさんあるため、送迎専門の職員を配置するなど法令で定められた以上の職員が動いている。 ・利用人数に合わせて調整を行っている。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・建物としてバリアフリーでない箇所についても動線を工夫するなどして配慮している。 ・子どもの成長に合わせて改修している。 ・勉強部屋や遊ぶ部屋など分かりやすく構造化されている。 ・展示物や物の配置を工夫し、視覚で分かるように構造化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化に関しては、費用等の面もありすぐには改善は難しいのではないかと ・入口がバリアフリー化されていない為、改善が必要。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが来所する前に環境整備や危険な物が落ちていないか等確認など行っている。 ・体を動かす空間と机に向かう部屋と活動に合わせた空間になっている。 ・日々の清掃や定期的な大掃除等行っている。古い建物ではあるが危険箇所についてもその都度修繕し、子どもの活動に合わせて進化している。 ・毎日掃除、消毒を行っている。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウン時や体調不良時など必要になった場合などは部屋を区切って使うことができるよう工夫し、個別対応できる環境がある。 ・状況に応じて環境を変えるなど対応している。 ・子どもが遊ぶ部屋を選べるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋や場所もすぐには改善は難しいのではないかと。 ・個別の部屋が不十分な時がある。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回職員会議があり、全員が共有できるよう周知徹底されている為、業務改善に繋がっている。 ・毎日の朝礼や毎月の職員会議等職員間での話し合いを徹底している。 ・会議議事録にてパート職員も共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や支援会議に限らず、子どもの様子について日常的に話し合っているが、個人による差はあると思う。みんなが意識を高めていく必要あり。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年必ず実施し、HP上で公表している。 ・評価表を共有し、職員会議等で反映している。 ・職員間でしっかりと共有している。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・その都度意見交換、相談ができています。 ・毎年必ず実施し、HP上で公表している。 ・職員会議や朝礼、終礼など随時話し合いを行い、改善に繋げている。 ・適宜代表との面談の機会を設けている。 		

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	7	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は実施していないが、役所を含めた福祉事業サービスとの関りはある。 ・必要に応じて市役所等と連携をしている。 ・市役所の監査等評価を参考にし、業務改善を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後必要があれば検討していく。 ・今後実施できるかどうかが課題である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・市や県が主催するものをはじめ、幅広く研修に参加し、参加したものが必ず現場にフィードバックしている。 ・職員は年1回以上外部研修を受ける機会を設けている。 ・社内の研修もやっている。 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意見をだし、作成できたものも全職員が確認できるように周知されている。 ・5領域を取り入れた内容を作成しHPに公表している。 ・毎月見落としが無いか確認している。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にしっかりとアセスメントを行い、子どもの理解や分析をした上で個別支援計画書を作成している。 ・児発管会議で他クラスとも話し合い、支援会議で各クラスしっかりと話し合い検討している。 ・担当者会議やモニタリングの内容も反映し作成している。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の支援会議に限らず、日々の様子を職員間で話し、共通理解をした上で作成し共有している。 ・支援会議にて職員同士で意見を出し合っている。 ・会議議事録をとり、検討した内容を振り返ることができるようにしている。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しと更新を行いながら計画に沿ったよりよい支を行っている。 ・個別支援計画はパート職員も見れるようになっている。 ・支援会議にて計画を共有し、支援に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間においては共有されているが、パート職員にはあまり共有されていないこともある。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングをしっかりとアセスメントに繋げている。 ・利用記録等にて共有し、確認してから支援を行うようにしている。 ・日々の行動を観察し記録を取り、様々な角度からアセスメントを行っている。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿って検討し、家族支援や移行支援についても併せて計画を作成しています。 ・本人と保護者と話し合いを重ね、意向をしっかりと取り入れながら適切かつ具体的な支援内容を作成し、設定している。 ・5領域も加味して適切な計画を作成している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・職員みんなで意見を出し合って各クラスの特徴を活かしたプログラムを考えている。 ・朝礼や会議等で相談しながら考えている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日や祝日等子供たちからやりたい事(外出等)外遊びや畑など固定化しないように工夫されている。 ・季節のイベントを大切にしている。 ・日々の様子を見ながら職員間で話し合っている。 	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・来所してすぐ宿題の流れができており、集中し取り組む時間が設けられることにより、個別支援に繋がっている。 ・意識的に分けた活動は無いが、個別活動や集団活動と子どもたちが自分たちで決めた活動の中で支援を行っている。 ・毎日の活動が同じにならない様に取り組んでいる。 ・担当者会議や保護者モニタリングなどを通して適切に作成し支援に生かしている。 ・子どもに応じた計画を作成し支援を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・平日は毎朝朝礼で必ず確認し、職員全員で共通理解を図っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・共有事項や連絡事項等全員が把握できるようにしている。 ・終業時に振り返りを行っている。 ・都度クラス内や職員間で情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた終礼のような時間は設けていないが情報共有は日々行っている。しかし、より確実に時間を取る様に工夫が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援について個別に記録を取り、それを改善に繋げています。 ・ヒヤリハットや事故報告書などを作成している。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、本人や保護者からの意見や思いを反映して次の個別支援計画に活かしている。 ・定期的にモニタリングや支援会議を行い見直しを行っている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行事がたくさんあり子どもたちが楽しめ、歌声発表会では各自が達成感を味わえるよう工夫されている。 ・ガイドラインに基づき、利用児童及び保護者の思いを大切に支援を行っている。 ・必ず「4つの基本活動」を組み合わせて支援を行っている。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のおやつ、遊びや活動の内容について子ども達本人に自己選択、自己決定の場を設け、子どもの気持ちを大切にしている。 ・子どもの意志を一番大切にしている。 ・子どもの自己選択、自己決定をする力を育むように支援し、それを保護者とも共有している。 	
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が必ず参加するようにしている。 ・状況に応じて児童発達支援管理責任者だけでなく職員も参加している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連絡体制を整え、その都度相談等行っている。 ・重要事項説明書にも明記している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分な時がある為改善が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校での様子の情報や毎月の下校時刻の確認、支援中のトラブルやけが等は都度保護者へ報告を行っている。 ・保護者、学校の両方から確認をとっています。学校の先生とも送迎時に日々の様子や変更点等を聞いて業務連絡で共有しています。 ・学校によって差はあるが、連携はよく取れていると思う。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員より担当者会議の際に基本情報を受け取っている。 ・新1年生の利用前には相談員と保護者と担当者会議を行い情報共有を行っている。 ・必要に応じて連絡を取り合うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員から情報を聞いてはいるが、園での様子を実際に見に行けたらもっと良いのではないかと。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて出来る限り対応している。 ・相談員を通しての情報提供はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護を徹底しながら関係機関と共有を行い、断絶的な支援ができるよう努めていきます。 ・要望があれば行う。

との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	4	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容向上のため適宜適切に連携している。 研修等適宜参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後必要に応じて検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	6	<ul style="list-style-type: none"> 他のデイとはイベントなどで交流をしていたこともある。 外遊びの際に交流する機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流をして色々な人と繋がってほしい。 十分でない部分もある為今後交流する機会を増やせるよう取り組んでいきたい。 要望があれば行う。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に参加している。 施設管理者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者以外でも参加できるように検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や利用記録でも様子や変化を伝え合い、共通理解をはかっている。 利用記録だけでなく送迎時に口頭でも伝える様にしている。 送迎時やLINE等でやり取りを行い、適宜情報共有を行っている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	7	<ul style="list-style-type: none"> 当てはまる内容の研修等があれば施設にて掲示をしている。 必要に応じて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望があれば検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 契約時に施設管理者が行っている。 入所時にしっかりと説明している。 契約時に説明しているが、質問等がある時には随時対応を行っている。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 普段から様子をしっかりと見守り、子どもの気持ちを尊重した上で、職員で話し合いを行い計画を作成している。 モニタリング等を通して保護者や子どもの意向を確認している。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 定期的にモニタリングを行い、保護者にも説明し、同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議や自宅でのモニタリングだけでなくLINEや電話、送迎時など気軽に相談できるようになっている。 時間外でも電話対応等出来る限りしている。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	12		<ul style="list-style-type: none"> 要望があれば実施
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方からご意見をいただいた際には、すぐに職員全体で話し、適切に対応している。 報告書の作成、保護者対応を即座に行っている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ブログ、Instagramにて子どもたちの様子を写真やコメントを添付し発信している。 イベント開催予定のお便りを配布したり、ブログを毎日更新するなど積極的に発信している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 写真を撮る際には、名前などの個人情報は写さないなど気をつけて対応している。 契約時に個人情報の取り扱いを説明し、個人情報に記載された書類はパスワードが設定された業務用PCで管理されている。 鍵付きの書庫で管理している。 個人情報の持ち帰りは禁止している。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> 相談員と連携を取りサポートしている。 こどもや保護者に合わせて、よりわかりやすい方法や手段を用いて対応している。 	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	12		<ul style="list-style-type: none"> 要望があれば実施 	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策等マニュアルは整っており、訓練等も行っている。 ・職員会議等でマニュアルを確認したり、研修をした上で書類を作成している。 ・様々な災害を想定して定期的に訓練を行っている。 ・HPに規定等公表している。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練、研修を行っている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬がある時には情報共有を行い、全職員が分かるようにしている。 ・変化に対応できるよう契約時だけでなく、モニタリング、担当者会議や日々の連絡帳など日常的かつ継続的に保護者と様子を伝え合い対応している。 ・契約時に保護者と情報を共有し、アレルギーや服薬についても確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が対応できるよう改善する必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー等の情報を記載したものがあり、全職員が確認できるようになっている。 ・医師の指示書はないが、施設で口にする物複数の職員で確認するようにしている。 ・保護者と連絡を取り合い対応を行っている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の作成、研修を行い安全管理について確認、定期的な振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分な時がある為改善が必要。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故報告書があり、全員が共有し振り返る事で危機管理への意識が向上している。 ・HPや書面にて提示し、情報共有を行っている。 ・連携方法について担当者会議等やアセスメント時に共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分な時がある為改善が必要。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの記録を作成し、全職員が内容を把握できるように回覧をしている。 ・事故発生時には、書類作成と共に朝礼や会議にて報告、改善に向けての話し合いを行っている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、職員全体で共有している。 ・担当職員も配置し対応、研修も行っている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・万が一に備え、本児もしくは他の利用者の安全を守る為にやむを得ず身体拘束を行う場合があることを個別支援計画に記し、保護者の了承を得ている。 ・研修も行い、共通理解ができるようにしている。 		